

その他の附帯事業・主な取組

広告事業

■ 車体広告

ポロクルの車体広告は「動く広告」。走っていても停まっても視線を集め、PR効果は抜群です。健康や環境にやさしい自転車で、札幌のまちづくりにも貢献するポロクルの思いに共感し、SDGsやCSR活動の一環として、また、リクルート活動を目的として広告を掲出いただいています。2025年度は11社の広告を掲出しました。

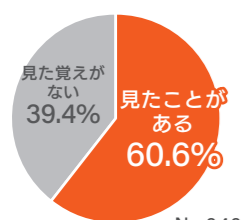


広告掲載企業

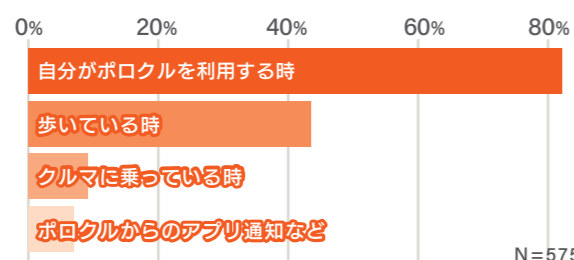
-
- 伊藤組土建株式会社 様
-
- 岩田地崎建設株式会社 様
-
- 株式会社商船三井さんふらわあ 様
-
- 合同会社Dialogger 様
-
- DOこれ 様
-
- 株式会社ドーコン 様
-
- 東日本高速道路株式会社 様
-
- 北電総合設計株式会社 様
-
- 株式会社北海道イエロースターズ 様
-
- 前田建設工業株式会社 様
-
- 前田道路株式会社 様

※50音順

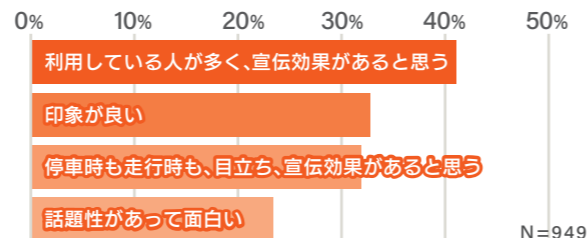
Q. ポロクルの車体広告を見たことがありますか？



Q. どこで広告を見ましたか？



Q. ポロクルの車体に広告掲出することをどのように思いますか？



■ 特別仕様車

2024年に引き続き「第9期北海道総合開発計画^{※1}」を導入しました。計画の存在を多くの方に知っていただき、北海道のミライについて考えるきっかけをつくることを目的とした特別仕様車です。

また、新たにプロバレーボールチーム「北海道イエロースターズ」のチームカラーに塗装した「イエスタ号」を導入しました。札幌を拠点とするプロスポーツチームを身近に感じ、その力で地域を盛り上げていきたいという思いが込められた特別仕様車です。



▲ イエスタ号 (7月4日～11月15日)

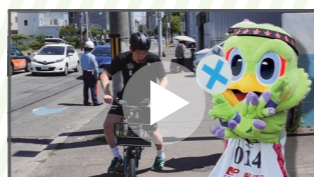


▲ 第9期北海道総合開発計画号 (4月6日～11月15日)

※1 北海道の資源や特性を活かして国の課題解決に寄与するとともに、地域の活力ある発展を図ることを目的に閣議決定される計画

レバンガ北海道 菊地選手と学ぼう！自転車のルール

レバンガ北海道と北海道開発局との共創の取組として、自転車の交通ルールやマナーをわかりやすく学べる啓発動画を制作しました。知っているようで知らない交通ルール。自転車と自動車と歩行者、みんなが安心できる安全なまちになるよう、動画と一緒に学びましょう！



ポロクル公式 YouTube



特定非営利活動法人 ポロクル

※呼称 認定NPO法人ポロクル

2026年5月25日 発行



ポロクルは、2024年度の国際交通安全学会(IATSS)「学会賞(業績部門)」を受賞しました。

WEB SITE



自転車共同利用サービス(シェアサイクル)事業

2025年度実施概要(営業期間:4月6日-11月15日の224日間)

■ 自転車

ポロクルの自転車は、安心のプリチストーン製とヤマハ製。すべての自転車に電動アシスト機能が付いており、坂道や長距離の移動も楽にできるため、行動範囲が広がります。



	2023年度	2024年度	2025年度
自転車台数	約550台	約600台	約620台
ポート数	57カ所	59カ所	64カ所

■ 登録エリア以外での利用

ポロクルの会員が道外で利用したり、道外の会員がポロクルを利用したり、全国各地に広がる共同利用対象エリアでシェアサイクルが使えます。相互利用を通じて、シームレスな移動が実現しています。



■ ポート配置



■ 新規ポートの設置

ユーザーアンケートでのご要望も踏まえ、ポートを増設。特に再開発が進む創成イーストエリアに重点的にポートを新設し、市民や観光客の利便性向上に寄与しました。



▲ 北ガスアリーナ 札幌46 ▲ 大通東4丁目 北海道新聞社前 ▲ JA北海道厚生連 札幌厚生病院

自転車のルール・マナーや環境負荷低減に関する啓発活動

■ 自転車安全利用啓発活動

北海道警察や札幌市などと連携した啓発活動に継続して参加しています。サイクルセーフティキャンペーン開会式では、札幌駅前で啓発品の配布やのぼり旗掲示を行いました。また、自転車通行位置と方向を示す「矢羽根型路面表示」の周知啓発活動では、デモ走行を行いました。



▲ サイクルセーフティキャンペーンでの啓発活動 ▲ 矢羽根型路面表示周知啓発活動

■ 札幌市内の学校における連携

中学校や大学、自転車関連団体に向けて、シェアサイクルを通じた地域活性化や観光振興、交通安全、SDGsについて考えるきっかけづくりの一つとして講義を行いました。また、道内外の複数大学と連携し、シェアサイクルに関する研究も継続して実施しています。



▲ 札幌国際大学 ▲ 札幌市立槻東中学校

■ ヘルメットの着用促進に向けた取組

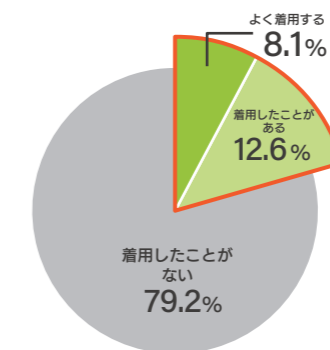
■ 主に札幌市民へ向けた取組

自転車安全利用の啓発も行っているイオン北海道株式会社と連携し、会員限定でヘルメットを特別価格で購入できるキャンペーンを前年に引き続き実施しました。また、利用者だけでなく、市民の安全意識の向上を目的に、車体広告も掲出しました。



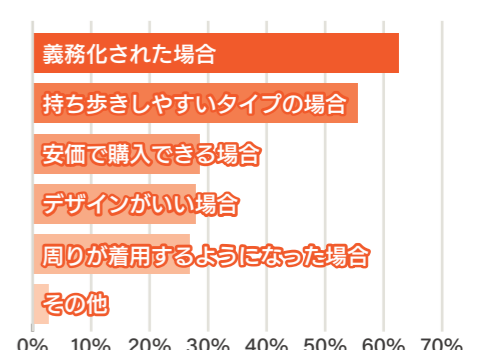
▲ あんぜん応援割の告知 ▲ キャンペーン車体広告

Q. 自転車に乗る際、ヘルメットを着用したことはありますか？



N=949

Q. どのような場合、ヘルメットを着用する人が増えると思いますか？

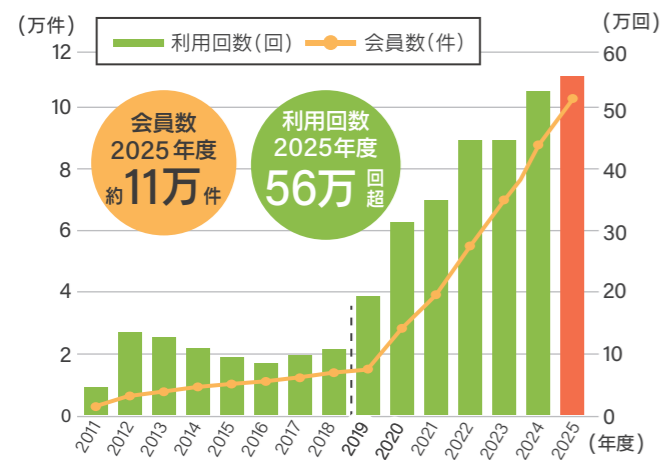


N=949

● 2025年度実績 ●

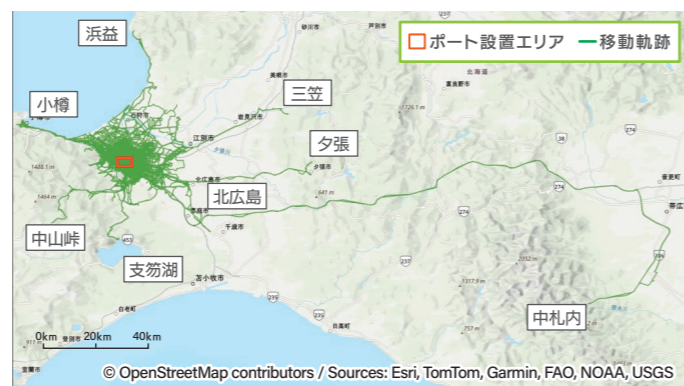
■ 会員登録件数(累計)・利用回数(年別)

会員数は11万件を超えました。利用回数は前年度から約1割増の56万回に達し、1台の自転車が1日に4.4回利用されるなど、多くの方にご活用いただきました。



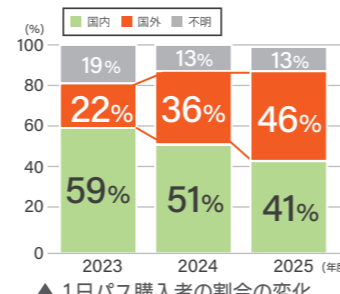
1日平均利用回数 2,513回
1日最大利用回数 3,783回
1日平均回転数 4.4回
1日最大回転数 6.6回

■ ポロクルの利用範囲(車載GPSによる移動軌跡)



■ 観光での利用状況

観光利用の多い1日パスは約7,000枚の販売がありました。購入者の外国人の割合が年々増加しており、国内外問わず、利用いただいている状況がわかります。



▲ 1日パス購入者の割合の変化

■ 観光客へ向けた取組

ヘルメットの持参が難しい観光目的の利用者のために、前年に引き続き北海道さっぽろ観光案内所と連携し、ヘルメットの無料貸出を実施しました。

■ 北海道を拠点とするプロスポーツチームとの連携

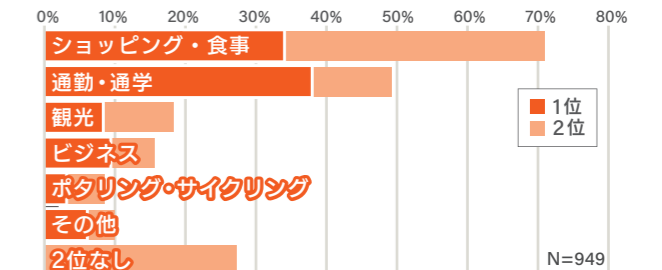
スポーツチームと連携し、安全啓発動画の制作や交通安全に関するイベントを開催しました。また、特別仕様車を導入することで、いつもの移動の中で出会う“楽しみ”を生み出しました。こうした取り組みを通じて、ポロクルだけでは届けにくい方々にも、自転車の安全な利用方法や楽しさを知ってもらいきっかけを作りました。



▲ 制作した動画の一場面 ▲ 特別仕様車お披露目会の様子

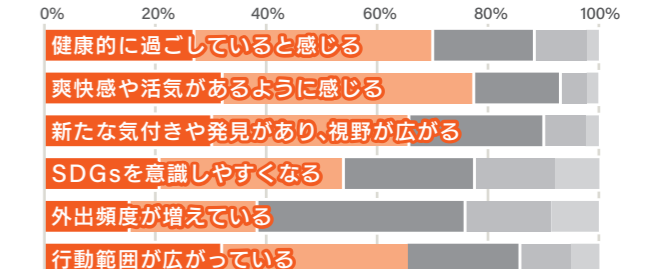
● ポロクル2025利用者アンケート ●

Q. ポロクルを利用する目的の1位と2位は？



N=949

Q. ポロクル利用があなたに与える影響は？



N=949

■ その通り ■ まあその通り ■ どちらともいえない ■ それほどでもない ■ そのようなことはない